

しんじひじ  
真慈悲寺阿弥陀堂復元想定図



真慈悲寺調査の会 金村忠作画

平安時代の終わり頃から鎌倉時代にかけてこの場所にあった中世の大寺院「真慈悲寺」の奥の院復元想定図です。13世紀後半頃の風景を復元しています。左の建物は屋根のてっぺんにだけ瓦が葺かれています。隣地の百草八幡神社に伝わる阿弥陀如来坐像（1250年鑄造）が納められた阿弥陀堂を想定しています。右の建物は屋根全体に瓦が葺かれたお堂です。付近から大量の瓦が出土しています。